The Women's News, Japan

This paper's aim is to promote peace and equality from the point of view of women.

本紙は女性の視点で平和と平等を推進します

女性ニューズ
The Women's News, Japan

発行所　全国婦人新聞社　〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-7-28宝幸西新宿ビル　電話 03-3343-1846㈹　FAX 03-3348-1890　月3回発行（10日、20日、30日）　振替口座 00150-7-172320　購読料 1年 6,930円（郵送料、消費税込み・前納）

自然の色と味を生かすうすくち
東 ヒガシマル醤油
うすくち醤油発祥の地・兵庫県龍野市 ヒガシマル醤油株式会社

もうやってられない！

田嶋陽子さん社民党離党

参院比例代表議員の田嶋陽子さんが7日、社民党を離党、無所属で議員活動を続けると発表。理由は、辻元議員の辞任、拉致問題の対処の仕方（朝鮮労働党と友好関係にあった社民党が、拉致事件は事実無根とした主張をホームページに掲載し続けた）が、不透明で説明責任を果たしていない、党運営も、表看板は女性の党だが、中は官僚的な男社会の体質に、限界を感じたと言う。土井党首は、「比例票は、党がいただいた票だから、離党するなら議員辞職すべき」と。これに対し「党もあるが、田嶋個人に投票してくれた人もいる。投票者への責任は、公約実現に精一杯頑張ることで果たす」と田嶋さん。選挙制度見直し論も浮上し、このまますんなり収まりそうにない。

自由を得た喜びのかげに

国連人口基金東京事務所開所記念シンポジウム「アフガニスタンの女性と健康」開く

母子の死亡率、世界最悪
サラビ女性問題相が講演

国連人口基金（UNFPA）東京事務所（池上清子所長）開所を記念し、シンポジウム「アフガニスタンの女性と健康」が1日、都内で開かれた。基調講演を行ったアフガニスタン移行政権の初代女性問題省大臣ハビバ・サラビさんは、アフガニスタンの女性たちは自由を手にし、喜びにあふれているが、母子の健康は世界最悪であり、まだまだ問題は山積みだと、窮状を訴えた。

アフガニスタンは、ソ連の侵攻以降20数年間内乱が続き、96年には、タリバーンがカブールを侵攻。女性に対する弾圧が始まり、教育、就業、外出などの自由が奪われた。寡婦となっても女は働けず、支援もなく子どもと共に飢え、死んでいくしかなかった。

サラビさんは「女性たちは、あまりにも無知で残酷な抑圧者の犠牲となった。アイデンティティを奪われたばかりか、社会から疎外され、見えない存在にさせられた」。

昨年12月、アフガニスタン暫定政権が発足し、女性の社会参画、地位向上をめざす女性課題省も設置された。今年7月のロヤ・ジェルガ（国民大会議）を経て、サラビさんが女性課題省大臣に就任。「今、女性たちは自由を謳歌している。新しい可能性、チャンスが与えられ、喜びにあふれ社会活動に参画している。政府機関の長や、地域の重要な役目に就いた女性の仲間がたくさんいる」。

3月には学校も再開され、日本ユニセフ支援の「Back to School」キャンペーンで、少女も、女性の教師も学校に戻りつつある。

しかし、国の復興活動は始まったばかり。長期の内戦、弾圧で女性は、低栄養状態に加え医療へのアクセスができず、健康状況は最悪。妊娠・出産に関係する合併症などで、年間2万人が死亡、幼児の4人に1人が5歳までに死亡している。また結核の死亡率が年1万5000人、その7割が女性だと言う。

「女性問題省の役目は、女性の権利を守り、社会への参画を促すこと。女性のエンパワーメント、法律、医療サービス提供。例えば、リプロダクティブ・ヘルス／ライツの普及やDV、人身売買、幼児婚させられた人たちの法律のサービスとトラウマの治療が必要」そして「政府、民間においても、ジェンダーの主流が、すべてのプログラムに考慮されるよう努力することを誓う」と力強く語った。

講演するサラビ大臣（上段・中央）、手前（左）はNFPA親善大使の有森裕子さん、右は東京事務所長の池上清子さん

UNFPA
United Nations Population Fund

UNFPA＝1969年発足。リプロダクティブ・ヘルスと女性のエンパワーメントを主要課題に、世界142カ国で人口支援プログラムを展開。アフガニスタン支援の一環として、同国中央統計局と協力し、05年めざし国勢調査を行う。

千葉県条例が危ない！

出納　いずみ
（千葉県男女平等ネットワーク）

第2の「宇部条例」？ 全国から「声明」応援を

千葉市条例も突然入った「女らしさ、男らしさ」「家庭を中心に」で大騒ぎになったが、結局、それが削除された議案が先日、可決された。

一方、県条例は千葉市よりも1年前に策定作業が始まり、「条例専門部会」で11回にわたる討議が行われ、県下4カ所での公聴会での意見も含め、400件以上の意見を反映してできあがった条例案であった。ところが、なんと議会上程前に自民党千葉県連は、4項目の修正要求を突きつけたのである。

①「性別にかかわりなく」の削除（「教育」の項）、②『性の自己決定権』の「自らの意思で決定できるよう」、③入札の参加資格の際の男女共同参画の状況の取組を考慮、④家族経営協定の文言の削除、である。

これに対し、堂本知事は条例専門部会を含め、懇話会に戻し意見を聞き、③と④の削除という〝苦渋の選択〟をした。2項目削除の条例案は議案となって、9月議会に上程された。

そしてさらに、自民党は残り2項目（①と②）についても再度「削除要求」を始めたのである。「性別にかかわりなく」の反対理由は、「ジェンダーフリー教育」とは、「性差をなくす」教育であり「女はやさしく、男はたくましくは当たり前」と男女の違いを強調したことには驚愕した。

千葉市議会の場合と同様である。国の「男女共同参画社会基本法」にもある「性別にかかわりなく」を削除せよ、というのも驚愕するが、相も変わらず「男らしさ、女らしさ」にこだわる議員に唖然とする。私たちにすれば、これは千葉市では決着している事だ。

「女らしく男らしくありたい」と、個人が思うのは自由である。でも、それを強制しない社会、ひとりひとりの個性と能力が伸ばせる教育、性別にかかわりなく、個人の能力が正しく評価される社会をつくろうというのがこの「男女共同参画条例」の「基本のき」である。それを千葉県の一部の議員は、まったく理解していないことになる。はっきり言えば、国の方針である「男女共同参画社会」に、反対ということになるのではないだろうか。なぜならこの「性別にかかわりなく」の削除の根拠に、自民党議員は、議場で『性別にかかわりなく』は、男女共同参画社会基本法の思想であると知事は答弁しているが、まさに過激な思想である」と述べている。②については、「子を産む、産まないは男女が決めること、女性が決めると読める」と反対理由を述べている。

セクシュアル・ライツは男性にもあるが、自分の体を管理するのは自分、というのは当たり前のことである。それとも誰か代わりにその人の人生に責任を持ってくれるのだろうか。自分のこと、自分の体のことを自分の意思で決める、それすらできなかった時代が日本は長すぎたのではないか。さらに「母体保護法」やカトリックやイスラムの一部がこれに反対していることを取り上げ、「産む産まないは、日本では基本的人権として確立されていない」と主張したのに対し、堂本知事は「望まない妊娠で、どれだけの女の子や女性たちが、心の傷、悲しみ、体の傷を負っているかということの想像が、みなさんにつくでしょうか」と訴えた。また、この議員は、「騎馬戦で女の子がボコボコにされている。これで女性が幸せな社会を築けるのか」と発言し、傍聴席の失笑を買った。「ジェンダーフリーは、日本文化を破壊する危険な思想」というのが、根幹にあるようである。あくまで「男らしさ、女らしさ」の世界を守りたいようである。

自民党は7日、議員総会を開き、同条例を継続審議することを決めた。12月議会には22項目を修正もしくは党案を提出するという情報もある。

定数97人中自民党67人という県議会の数に対し、いったいどのように運動を展開していったらいいのだろうか。あきらめず、最後までがんばるしかない。

千葉県内に訴えるのはもちろんだが、全国の「男女共同参画」に関心のある団体が今、千葉の自民党のこの動きに対し、各地で「声明」を出していただけないか。あらゆることをするしか、この流れを止めることはできないだろう。

ニュースくりっぷ

◆福島県原子力政策
白紙撤回要請
佐藤福島県知事は、経済産業省に核燃料サイクル政策について白紙撤回要請。知事が、原子力政策トップに直接意見を伝えたのは初めて。

◆女性検事過去最多22人に辞令交付
法務省は司法修習を終えた、新任検事75人に辞令交付。うち22人が女性で過去最多。

◆ペイオフ全面解除05年から
小泉首相は竹中金融・経済財政担当相と会談し、ペイオフ延期決定。

◆ノーベル賞・日本人初の複数受賞
02年度ノーベル物理賞に、小柴昌俊・東大名誉教授、化学賞に島津製作所エンジニア、田中耕一さん。

◆71歳　ヒマラヤ登頂
横浜市の内田敏子さんは、1日、ネパール・ヒマラヤのチューオユー（8201㍍）登頂に成功。世界最高齢記録。

◆Qちゃん、ベルリン連覇
第29回ベルリンマラソンで、高橋尚子選手2連覇。2時間21分49秒。

国際ネットワーク世界会議報告

基地と軍隊許すな
8月、ソウルで開催

「東アジアアメリカ・プエルト・リコ軍事主義を許さない国際女性ネットワーク」が主催する世界会議が8月、韓国で5日間にわたり開かれた。米軍の基地を抱える国と、軍隊を送り出す側のアメリカから、約200人の女性が集まり基地と女性、環境汚染などについて話し合った。開催国の韓国では、6月中旬に在韓米軍の装甲車が地元の女子中学生2人をはね死亡させた事件があり、基地に対する怒りが高まるなか行われた。この会議は、日本では沖縄の新聞を除いてはほとんど報道されていない。その報告会が29日行われ、参加した松井やよりさん（VAWW-NET代表）、高里鈴代さん（基地軍隊を許さない行動する女たちの会・代表）さんらから報告があった。

会議は6つの分科会に分かれ議論。基地だけでなく軍隊の存在自体が問題だと話し合い、対テロなど新たな戦争に反対する共同声明をだした。この中には、米国と、米軍の受入れ国に対し、◉地球規模の真の安全保障を脅かす「テロとの戦い」とその政策をやめる◉米国政府はただちに軍事演習を中止し、2003年5月までに、プエルト・リコのビエスケ島から撤退する◉沖縄での新しい基地建設を中止、軍隊は撤退する◉女性と子どもに対する暴力をなくす、などの具体的要求も入っている。

沖縄で日々、基地の問題に直面している高里さんは、「基地の返還、移転などが言われるが決して喜ぶことでなく、米国の政策の一環。つまり基地を無くすのでなく、古い基地をつぶし、別のところに移し拡大することなのだ。沖縄も普天間基地の移転問題が起こっているが、韓国もソウルの基地を移す計画がある。この会議の大きな成果は、国内だけではわからないことも基地のある国が集まって話すことで構図が見えたこと」と。

参加国は10月6、7、8日に一斉行動を起こす。沖縄では県庁前に集まり新しい戦争反対の集会を開くことが決まっており、各地で行動を、と訴えていた。

韓国では、米軍の装甲車にひき殺された少女の写真をつかいポスターにした。ポスターを示しながら報告

たんぽぽ

車椅子の生活の方を、ある集会の講師にお呼びする計画をたて、数々のバリアに気づいた。

会場の小さなビルには小さいがエレベーターはあるからなんとかなると思っていたが…。さて▼このビル、トイレも小さい。和式だけでなく洋式もあるが、あの大きさでは車椅子では入れないのではないか。部屋に入るところも間仕切りがあり、バリアフリーではない。ドアの大きさは大丈夫か？▼考えてみると困難ばかり。改めて共生の社会などというものの、世のなかは障害者が安心して暮らせるしくみになっていないことを痛感した▼私は、バスに乗ると、車体の中央あたりの席をさがすことにしている。そこには「この席は、車椅子の方が乗車された場合、その席になるのでご承知ください」と書いてある。この席をたたんで、車椅子をいれることになっているらしい▼「らしい」と書いたのはそういう場面に遭遇したことが一度もないからだ。使われていないということだろう。バスの内部に〝指定席〟があっても、乗るのも大変だし、タクシー（自家用車）の方がラクなのではないだろうか。駅などもエレベーターのあるところはまだ少ない。公共の交通機関をつかうのは大変だ▼近頃、集会などで車椅子の人にあうことが多いけれど、多分、大変な苦労での参加だろうと、今回改めて思い知った。

行動する医者・山田真が語る！
新刊　改訂第三版
はじめてであう小児科の本
山田真著／柳生弦一郎画
536ページ／本体2,600円（税別）
長い間、お母さん方に読みつがれている定評ある育児書を、予防接種法の改正により、十年ぶりに改訂しました。他にもアレルギー問題や、気管支喘息の発作時の対処療法について訂正加筆しました。真面目に本当のところを書いた希有の小児科の本。家庭医の代わりとして身近に置いて欲しい一冊。
福音館書店　113-8686 東京都文京区本駒込6-6-3　TEL 03-3942-1226　FAX 03-3942-9691　ホームページ http://www.fukuinkan.co.jp/

Kazoku-sha・1000シリーズ
フェミニズムが問う平和論
ひろしま女性平和学試論（シリーズ1）
―核とフェミニズム―
加納　実紀代著　2002年9月発行／定価 1,050円
最新刊同時二冊刊行
フェミニズムから見たヒロシマ（シリーズ2）
―戦争犯罪と戦争という犯罪のあいだ―
上野　千鶴子他　2002年9月発行／定価 1,050円
お申込みは…　家族社
広島市中区白島北町16-25　TEL (082) 211-0266／FAX (082) 211-1761　E-mail／kazokusha@enjoy.ne.jp　取扱い：地方小出版流通センター

学陽書房
市民派議員になるための本
……立候補から再選まで
寺町みどり著 ●プロデュース…上野千鶴子
あなたのまちに、市民派議員を！
市民型選挙でどう勝つか、政策をどう作るか、議会でどう働くか。この本を読めばあなたのまちの変え方が分かります。◆本体2400円＋税
【実践事例】どう進めるか、その取り組み方・創り方
自治体の男女共同参画政策
藤枝澪子・グループみこし　◆本体2500円＋税
女性施設ジャーナル⑦2002年版
特集＝女性センターから男女共同参画センターへ
編集（財）横浜市女性協会　◆本体1500円＋税
〒102-0072東京都千代田区飯田橋1-9-3　TEL.03-3261-1111

鶴見和子氏・山住正己氏推薦!!
戦後の日本を根底で支えた女性たちの〝生活綴方〟。
紡績女子工員生活記録集
1952～1961　全7巻
［編著］生活を記録する会（代表・澤井余志郎）　［解説］辻智子
■A5判上製・本文総約2,900頁
■揃本体93,000円
一九五〇年代に、四日市の紡績工場で働く女子工員たちが綴ったガリ版刷り文集を集成・復刻！

女性関連図書
政治・経済から生活史まであらゆる分野から幅広く採録！
日本女性人名辞典　普及版
［監修］芳賀登・一番ヶ瀬康子・中嶌邦・祖田浩一
■四六判上製・本文1,200頁　■本体3,800円
古代から現代までの約7,000名の女性（物故者）を収録。
画像・肖像写真を中心にしたビジュアル版大事典！
日本女性肖像大事典
［監修］永原和子
■A4判上製・本文198頁　■本体16,000円
多分野の800名を収録。簡潔なプロフィール付き。

3万4,000名もの膨大な女性人名を収録。女性史、女性問題の研究・調査に絶大の威力！
日本女性人名総索引
［編著］日本人名情報研究会
■全2巻（上・下巻）／B5判上製・各巻480頁
■定価：本体28,000円
◎各分野の代表的な辞・事典144点を精選し、その書目名と掲載頁を示す。
◎平成期の物故者を編んだ付録編を下巻に収録。
【紀田順一郎氏推奨！】
第一に参照すべき、便利重宝なツール！
日本図書センター　〒112-0012 東京都文京区大塚3-8-2　TEL.03-3947-9387　FAX.03-3947-1774　〈価格は税別〉

（第3種郵便物認可）

「独身婦人連盟」閉幕の集い

平和を願いつづけて 最後のアピールで訴え

閉会しても個人で声をあげたいと元気に乾杯

創立以来、会をリードし続けた大久保会長（壇上）に花束が贈られた

「どっぷれた」という言葉が、ユニークな連称で知られた「独身婦人連盟」が、会員の高齢化で会を閉じて幕を閉じることになり、9月30日「閉幕の集い」を開催した（於・フェリオ・エフ）。全国から70人も会員が集まった中、急に咳をどっと来れない人も多くて、しかし、会は閉じたが、個人として死ぬまで平和、老人、介護の問題にユニークな連称で知られた「独身婦人連盟」が、会員の高齢化で会を閉じて幕を閉じることになり、9月30日「閉幕の集い」を開催した（於・フェリオ・エフ）。全国から70人も会員が集まった中、急に咳をどっと来れない人も多くて、しかし、会は閉じたが、個人として死ぬまで平和、老人、介護の問題にユニークな連称で知られた「独身婦人連盟」が、会員の高齢化で会を閉じて幕を閉じることになり、9月30日「閉幕の集い」を開催した（於・フェリオ・エフ）。全国から70人も会員が集まった中、急に咳をどっと来れない人も多くて、しかし、会は閉じたが、個人として死ぬまで平和、老人、介護の問題に

「平和を願いつづけて」

「平和を願いつづけて」

「平和を願いつづけて」

日本ペンクラブ トークバトル 作家VS図書館

作家「問題・同一本の大量購入」
図書館「読む人を増やす"場"」

先ごろ「激論！作家vs図書館」といういささか挑発的なタイトルのシンポジウムが開かれた。近頃、作家や出版社の一部に、図書館が本を大量に貸すから本が売れなくなる、図書館は無料貸本屋か、といった論調がある。昨年日本ペンクラブは「著作者の権利への理解を求める声明」を出し、"公立図書館の貸し出し競争による同一本の大量購入"を批判し、図書館界から反発が出ていた。こうした経過を受けて公開の場で議論しようということになったもの。主催は日本ペンクラブ。コーディネーターはペンクラブの言論表現委員長でもある猪瀬直樹さんだったが、会場の拍手は圧倒的に図書館の方が多かった。

図書館攻撃が出てくる裏には、いま本が（マンガを含めて）売れなくなっているという現実がある。新刊書の4割が返本され断裁されるといわれる。弘兼憲史さん（コミック作家）は「情報が簡単に手に入る今、なぜ図書館が無料か。書店では手に入らない学術書を図書館におけ」といい、推理作家の楡周平さんは「本が売れる期間が極端に短くなっている。図書館がベストセラーなどを大量に買うのは問題。著作者は食っていけない」という。作家の三田誠広さんは「公共貸与権」というヨーロッパで行われている制度を紹介。イギリスでは国が年間12億円程度の基金を準備、図書館での貸し出しの状況に応じ著作者に保証金を配分するという。

これに対し図書館側からは、日本一の図書館活動といわれる千葉県浦安市の常世田良さんが、浦安市では書店がかえって増えており、図書館利用者の88%が平均月2400円本を買っている、という数字を紹介。「図書館は本を読む人を増やし広げる。知識情報は人類共通の財産」という。図書館司書の西河内靖泰さん、日本図書館協会の松岡要さんは、日本の図書館がまだ少なく、図書館で本を借りたくても図書館がない状況。不況の中、資料費なども減らされている現状を語り、「出版不況を図書館のせいにするのはお門ちがい」という。「公共貸与権」という考え方には図書館側も賛意を表したが、財政きりつめの今の日本で、果たして現実性があるのか。作家でも井上ひさしさんは、「公共図書館に投下する金が少なすぎる。日本は図書館後進国」と図書館ファンだ。

楡さんが「せめて図書館が新刊本を出版から半年、いや3カ月でも貸さないと助かる」というと常世田さんは「図書館の状況を知らなさ過ぎる。今、図書館では文芸書の貸し出しは2割、多様な本が求められている。税金や社会保険の本など半年待ったら情報にならない」。「まとめ」で俵万智さんは「図書館の予算の少ないこともわかり、図書館は読者を増やす場というところで会場の全員がうなづいていた」。会場からの意見も、図書館に期待する意見の方が圧倒的。小出版社の人「私どものように1500部売るのに苦労しているところは、図書館の存在が大きい。読者カードを見ても、図書館で読んで良い本と思い購入したというのが意外に多い」。地方の図書館員「地方の図書館には新刊書は発注しても3カ月くらいでは入らない。読みたい本が読みたいときに手に入らないのが、むしろ今の図書館の悩みなのだ」。

結局、作家・出版社と図書館は敵ではなく、ともに協力してもっと本が読まれる状況を作るべきだ、「公貸権」は図書館も著作者の権利も保障されるので、連帯して研究をと、前向きの方向でシンポジウムは終わった。

人気作家も多く出たシンポジウム　会場は満員だった

協力して本が読まれる状況を

エンジョイスパイス

素材とスパイス ▶410◀

16世紀、薩摩に伝わる
さつま芋のパプリカグラタン

さつま芋編

さつま芋は、紀元前3000年以上も前から、作物として利用されている食品です。日本には16世紀ごろ九州薩摩に伝わり、鹿児島、長崎で栽培され、今日に至っているといわれています。

芋を食べると肥るという俗説がありますが、そのようなことはありません。デンプン、糖分、カリウム、食物繊維を豊富に含み、便秘に良い食品でもあり、大いに取りたいものです。

今回の料理は、とっても簡単にできる「さつま芋のパプリカグラタン」です。ローズマリーで芋臭さをマスキング。パプリカで赤い着色作用とカロチン摂取を期待します。パソコンの普及などで目が疲れやすい現代社会です。ビタミンAの摂取にも役立ちます。

材料（2～3人分）

サツマイモ	300g
生クリーム	100cc
ローズマリー	小さじ½
パプリカ	小さじ2
バター	10g
パルメザンチーズ	大さじ1

簡単にできるちょっぴりリッチなデザート

【作り方】
①サツマイモは皮をむき、1㌢角に切りゆでる。煮えたら水気をよく切りパルメザンチーズをまぶしておく。
②パイ皿にバター（分量外）をぬり、①をならして入れ、生クリームを注ぐ。バターをちぎって加え、ローズマリー、パプリカをふる。
③200℃に熱したオーブンで20分ほど焼く。

（資料提供・ライオン家庭科学研究所／料理指導・園田ヒロ子）

人見絹枝が残した女性スポーツ史

女性スポーツ財団日本支部（WSFジャパン）がことし20周年を迎え、その記念事業として9月26日、東京で「女性スポーツセミナー」を開いた。今回のテーマは「人見絹枝」。人見絹枝は日本女性初のオリンピックメダリストとしては知られているが、日本の女性スポーツの歴史に残した業績の全貌はあまりにも知られていない。女性の歴史を正しく伝えたいという思いがあふれるセミナーであった。

WSF20周年記念セミナー

セミナーの講師は「人見絹枝物語」などの著書もある小原敏彦さん。人見絹枝についてあつく語った。

人見絹枝（1907～1931）がスポーツで記録を出しはじめた大正時代、「スポーツは女らしさを失わせる」「女とスポーツ」は水と油というのが常識。世界でも、オリンピックの創始者クーベルタンはスポーツは女性の優美さを損なうとオリンピックに女性の参加を認めず、人見がメダルを得た1928年第9回アムステルダム大会で初めて女性の参加が認められた。日本で女性のスポーツについて常識が変わるのは、人見絹枝が1926年、スウェーデン・イエーテボリで開かれた「世界女子オリンピック」で2種目に入賞、個人総合最高得点を得、最優秀選手に選ばれてから。日本中が驚嘆、関東大震災後の不況の世が、明るさを取り戻したと言われた。

人見絹枝は選手だけでなく女性スポーツの指導者でもあった。殆ど独学で練習、イエーテボリに行った時も19歳の若さだが、つきそいも監督もなく、ひとりでヨーロッパに行っている。この2年後の、第9回オリンピックも女子選手はひとりだけ。これでは日本の女性スポーツは広がらないと思った人見は、練習、仕事の合間に後輩を自ら育て、育てた5人の選手をつれ、1930年、プラハの第3回女子五輪に参加。しかし企業なども金を出さず、ひとり3千円かかる遠征費がない。当時3千円といえば家が建つ金。人見は全国の女学校に呼びかけ女学生ひとり10銭の募金を集め、見事1万5千円集めてしまう。企画プランナーでもあった。

人見は大阪毎日新聞記者、初の女性スポーツライターだ。便宜上新聞社に所属したと思っている人も多いが、実は彼女は忙しく仕事をし、記事を書いた。結核で24歳7カ月で死ぬ短い一生に、著書も5冊残している。

小原さんは日本では人見絹枝の業績が十分評価されていない。もっと歴史的評価を広めたいと熱く語った。

セミナー入口には人見さんの走る姿の写真が掲示されていた

WSFジャパン記念誌も刊行

1981年、スポーツライターの三ツ谷洋子さんが提唱して設立した。

当時、スポーツの協会なども男性ばかりで占められていた状況に声をあげ、さまざまな活動をしている。女性をとりまく社会環境は激変したが、スポーツの世界はまだ十分な対応ができていないという。

ことし20周年を迎え、記念誌『日本女性とスポーツ明治・大正・昭和から平成へ』を刊行。

業績の評価広めたい
指導者、ジャーナリストそしてプランナー

出かけてみませんか

10月

▼アートプロジェクト 検見川発信所2002 12日(土)～13日(日) 千葉市花見川区検見川町内（JR・検見川駅） 検見川という「まち」を舞台に「まち」や「コミュニティ」のあり方を考えながら、アーティスト・学生・住民とが主体的に関わっていく場と機会をつくり出す 無料 主催・千葉大学総合科目「文化をつくるA」 問合せ…同プロジェクト事務局 ☎043・290・2658（千葉大内）

▼女性のための・ソフトエアロビクス「ダンス・ダンス・ダンス」 15日～12月17日 19時～21時毎火曜全10回 すてっぷ 1万円 主催・問合せ…㈶とよなか男女共同参画推進財団 ☎06・6844・9773

▼ポーラ 香水づくり講座 17日(木)～18日(金) 15時30分～17時／18時～19時30分 ポーラ・ミュージアム・アネックス2F 無料 主催…ポーラ横浜研究所 要予約☎03・3563・5501

▼お菓子研究家 加藤千恵さんの「バニラの香るキッチン」 19日(土)13時30分～15時 ハウスクエア横浜 住まいの情報館4F・セミナールーム（地・中川駅2分） 1000円 主催・申込み…㈱日本住情報交流センター ☎045・912・7473

▼チャリティーセンサート チェロとピアノのデュオ・コンサート 19日(土)14時～16時 東京YWCA・カフマンホール（JR・お茶の水駅5分） 3500円 問合せ・申込み…☎03・3293・5424

んぽ

「女が働くこと生きること」
中島通子著

女が生き、働くということはどういう事かを、性差別、家族・家庭、働く、などテーマに分け、それぞれの章が、著者がこの30年間に書いてきたもの数編と今回書き下ろしたもので構成されている。著者の"個人史"も入り、女性の問題が時代を追ってわかり、女性が自立した生き方とはどういうことなのか、浮かび上がってくる。

性差別の章では、「性別役割分業」という言葉も71年にはなかったこと、夢として「女の組合」を提唱していること（「女性ユニオン」など、まだなかった）に感慨をもつ。

いま誰でもが使うジェンダー・フリーについても、ただ個人の個性で、ということだけではなく、ジェンダーの2分法は、"男の女に対する支配構造の合理化"と鋭く切っている。

「平和・人権・民主主義」の章も、正義の戦争論などが声高に言われるいま、ぜひ多くの人に読んでほしいと思う。著者は「女性解放の視点なしには平和の実現なし」といいきり、フェミニズムの一部にある平等なら女性も兵士になるべきという論にノーといい、力による競争、制圧論は、男の論理に女性の同化という。パートナーシップをいうあまり告発を嫌う風潮を危惧し、武力によって平和は築けないことを強調、参画が戦争への男女共同参画にならないよう警告する。逆流が強くなっている今、貴重な論だ。

（労働教育センター 本体＝1800円）

「共生の法律学」
大谷恭子著

本書は初版から2年間に人権教育推進法やDV防止法が制定されるなど、新しい法律や判決が相次いだため、関連箇所と第1章「障害者とともに」の組み立てを少々変え「新版」となった。

第1章には障害者の欠格条項撤廃の例がある。1998年、国家試験に合格しながら、耳が不自由だったため薬剤師になれなかった早瀬久美さんは、法の改正を求めつづけていた。薬剤師法には耳の不自由な人に免許を与えないとされていたが、2001年薬剤師法ほか障害を理由の資格や免許の排除が改正された。

著者は『障害や病気があっても基本的な権利や日常生活は、制限されることがあってはならないとするのか、まずは制限されることを前提に、場合によってはゆるされるとするのかでは、まったく異なる』と述べ、わが国の障害児教育の分離・別学強制に疑義を示す。

また、少数派のアイヌ民族、「部落」の人々などの生活や権利を、法律はどこまで守り、あるいは規制しているかを裁判の事例であきらかにし、共生への道を真摯に説いている。

再び、共感の思いをあらたにした。（陽）（有斐閣 本体＝1900円）

消費者の声に応える

ディスクロージャー誌の解説資料

――日本損害保険協会

日本損害保険協会は、このほど「損害保険会社のディスクロージャー『かんたんガイド』2002年度版」を作成した。損害保険各社が発行するディスクロージャー（企業情報開示）誌の解説資料としてつくったもの。ディスクロージャー誌に対して、「専門用語が多く、読みこなすのが難しい」「どこを見たらいいのかわからない」などの消費者の声があり発行している。2002年度版は内容を全面的に見直し、読みやすくしたので、活用してほしいと同協会ではいっている。

冊子希望者は、郵送料180円分の切手を同封し、〒101－8335千代田区神田淡路町2－9日本損害保険協会生活サービス部「かんたんガイド」係あて申し込めば送ってくれる。

日曜劇場
おとうさん
おそば屋さんのガンコオヤジ、進藤士郎。妻を亡くして、男手ひとつで娘たちを育てたが、愛情も口うるささも人一倍。4人の娘たちもアキれるやらケムたがるやら事件のつきない日々である。そんなある日、士郎がとつぜん再婚すると宣言して…!?
10月13日スタート日曜よる9時（初回は15分拡大）
妻よ、娘たちは立派に育っているぞ。

TBS